

E.R.F.C.

Newsletter 2004 vol.2

清里ミーティング告知号

お待たせしました。今年もE.R.F.C清里ミーティング告知の季節がやってきました。そんなわけで・・・

【ごあいさつ】

なにはともあれ会長のあいさつから。

9月になっても暑い日が続いてますが、みなさんお元気ですか？ロードスターの屋根をあけて走れるようになるまではもう少し時間がかかりそうですが、今年も清里ミーティングのご案内です。

毎年毎年、何も変わらずにやっている清里ミーティングは今年で15回目を迎えることになりました。10回目の時も同じようなことを言っていた様な気がしますが、15回目だからといってなんか変わったことをするわけでもなく、特別なことは何にもありません。でも毎年変わらずに来てくれるみなさんと、毎年同じ場所で毎年同じ挨拶をして毎年同じ話をしながら、毎年ちょっとずつ移り変わりを感じていく、そんなのんびりしたミーティングだと思っています。ってこれも毎年同じことを言っているような気がしますが.....。



清里でお会いする頃には、この暑さも遠くに行ってしまう、気持ちよく景色を楽しみながら走れるようになっていっていると思います。もしかしたら清里は寒いくらいになっているかもしれませんけど。とにかく、みなさん清里ミーティングにいらしてください。お会いするのを楽しみにしています。

(No.590 ひでまる)

【実行委員長からもごあいさつ】

とまあ会長からの挨拶もあったわけですが、今年も実行委員長は私こと豆蔵がやらせていただいております。

さてその清里ミーティングですが、今年から従来のE.R.F.C.年会費がなくなったこともあり、参加費を従来の会員の料金である5000円に統一し、実質的な値下げをさせていただきました。

そして今年では会場設営の関係で開始時間が30分ほど遅くなっておりますのでお間違いなく。

もちろん今年もマツダからのゲストをお迎えすべく準備中ですし、なんコンもあります。午後のスワップミーティングのブースも例年通り用意しますので出品の用意もどうぞ。さらにお弁当プロジェクトが進んでいることは言うまでもありません。(笑)

申し込みは次ページからの応募要綱をごらんの上でよろしく願います。

では清里でお会いしましょう。

(No.529 第15回E.R.F.C.清里ミーティング実行委員長:豆蔵)

【第15回E.R.F.C.清里ミーティング概要】

開催日 2004年11月7日(日曜)
時間 10:00~15:00(雨天決行)
会場 (財)キープ協会 清泉寮(山梨県北巨摩郡高根町清里)
募集台数 100台(ゲスト・スタッフは除く)
参加資格 ロードスターを愛する人なら誰でもOK
参加費用 お一人様¥5000

(18歳以上:お弁当代・寄付金含む:同伴者同額)

#参加費は当日会場でお支払いください。

18歳未満の方は参加無料ですが、お弁当が必要な場合は
ご相談ください。

このイベントを開催するにあたり、毎年多大なご協力をいただいていますキープ協会は、創設者の故ポール・ラッシュ博士の想いを引き継ぎ、環境問題や国際教育などに力を注がれている団体です。

E.R.F.C.は、この趣旨に賛同すると共に、会場となります清泉寮とその周辺、さらにはキープ協会がこれまで守られてきた美しい八ヶ岳の風景をも「お借りしている」と考えています。そのため、「施設使用料」の代わりとして、参加費の中からイベント運営費とは別に、お一人様につき1000円を寄付させていただいております。

またご同乗者さまも参加者として運転手の方と同じ扱いとさせていただいておりますので、参加費も同額としております。どうかご了承ください。



【応募要綱】

申し込み方法は次の二通りの方法があります。どちらかご都合の良い方をお選びください。

1. ハガキによる申込み

#『車1台につきハガキ一通』でお申込みください。

ハガキに

郵便番号、住所、電話番号(申込み内容の確認をすることがあります)

お名前

乗ってくる車の型式(N A or N B)とナンバー(ロードスター以外の方は車名も)

参加者数

(18歳未満でお弁当が必要な方はその旨と人数を。なお席数の都合上、18歳未満でも事前に参加者登録していただかないと会場に入れないことがあります)

を必ず明記してください。

2. e mail による申込み

#『車1台につきメール一通』でお申込みください。

メールの題名の先頭に「清里申込み」と入れてください。

メールの本文に

郵便番号、住所、電話番号(申込み内容の確認をすることがあります)

お名前

乗ってくる車の型式(N A or N B)とナンバー(ロードスター以外の方は車名も)

参加者数(注意事項はハガキの場合と同じ)

を必ず明記してください。

応募の宛て先

erfc@dec.sakura.ne.jp

締切り

ハガキ、e-mailとも10/29(金)必着です。
ただし申込み台数が100台を超えた場合はそれより前に締切ることがあります。

受付の確認

10/1以降、ハガキまたはメールの到着後7日もしくは11/3(水)までに受付確認用の資料を郵送します。もしそれを過ぎても連絡の無い場合はハガキまたはメールでお問い合わせください。

また残念ながら受付をお断りする場合は必ずこちらからご連絡します。



注意

締め切りをお守りください。

申込み内容や申込み方法に不備がある場合、無効になる場合があります。

ご不明な点やご質問は、ハガキまたはメールで事務局までお願い致します。

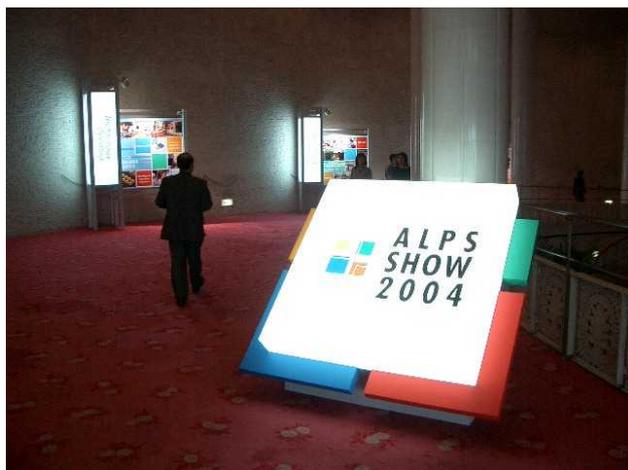
なお、本応募要綱等はERFCのホームページ(<http://dec.sakura.ne.jp/~erfc/>)でも見る事ができます。

ではスタッフ一同、皆様のご参加をお待ちしております。

【クルマノミライ? ~ ALPS SHOW 2004 視察記 2004/5/24 高輪プリンスホテル】

しばらく前の話になっちゃいますが、今回は関係者以外立ち入り禁止(?)な展示会のお話です。

BMW7シリーズの、あのジョグダイアル「i-Drive」開発メーカー、アルプス電気の最新技術を見てきました。残念ながら撮影禁止です。



アルプス電気はエレクトロニクス業界のスイッチなどの大手部品メーカーです。

おなじみのカーオーディオメーカー「アルパイン」の親会社でもあります。

まずは、携帯電話やデジカメ、PC用の各種スイ

ッチ、電子デバイスの展示がいろいろあります。

ノートパソコンのタッチパッドもこの会社の開発商品ですが、その応用商品もたくさん展示してあります。デバイスごとの展示があり、それぞれ説明員もついています。

近くの品川プリンスホテルではソニーの電子デバイス技術内覧会も開かれているため、合わせて見に来ているメーカーの役員、技術者も多いようで、かなり混雑しています。

さて、最後のエリアがクルマ関係です。

興味深いものをふたつ紹介します。

「ハプティックコマンド」

航空機で使用されている「Fly-by-Wire」のクルマへの応用として、「Brake-by-Wire」「Steer-by-Wire」などがあります。油圧などによる機械的な操舵や制動などの機能を、電気的なアクチュエータやモータ、電子制御などによって実現する技術のことです。

アルプス電気では「ハプティックコマンド」と呼

んでいます。これが今回の展示のメインです。

機械的な制御方式に比べてきめ細かい制御が可能になるため、安全性の向上、軽量化などのメリットがあります。「i-Drive」も原理は同様なものです。ただのジョグダイヤルではなく、操作状況に応じ細かく操作感触を変えます。アルファロメオやフェラーリなどのパドルスイッチ+油圧アクチュエーターによるセミオートマチックも原理は似ていますが、パドルスイッチ自体は単一のクリック感であり、制御はしていませんので違うモノといえます。

ゲームセンターのようなシミュレーターに乗り込んで、コース上のミニカーを操作するデモが行われています。アクセルペダルを坂道を登るときは軽く、下るときは重くし、間接的なスピードの自動調整をしたり、ペダルフルストロークの手前で重くし、踏み込むとキックダウンするなど、操作力を自由に設定したクルマをつくることができます。シフトレバーのゲートのパターンやストロークも自由に設計できます。これらをドライバーが設定することも可能にするかはメーカー次第ですが、好みや操舵角に応じてステアリング操作力を変えたり、キックバックをあえて作ったり、初期のユーノスロードスターのように2速のギアはちょっと入りにいなどの味付けもできるわけです。操作トルクはモーターで作っているとのことですが、まったくギクシャクした感じはなく、電気式のシカケとは気づきません。

「TPMS バッテリーレスタイヤ空気圧モニタリングシステム」

従来のものはバルブ側にセンサー動作電池を内蔵していますが、これは電波でセンサーの電力も供給するものです。約6gと従来の1/3程度になっています。電池寿命を考慮しなくてすむので、検知頻度も従来の1分間に1回程度という制約がなくなります。時速330kmでも測定可能だそうです。

エアバッグ、ABS、VDCの次の安全装備はこれかもしれませんね。

しかし、日本の零細企業がつくった、走ることで自動的に空気を定圧までいれてくれるハブ付の自転車というのがあります。自動車に應用すればモニター不要になりますから、これより実用的かも。

電子機器業界向けに行われている2年に一度のショーで、招待状がないと入れませんが、発売前のナビやカーオーディオ関係などの展示もあり、クルマ好きな人にとっては、見て損はしないと思います。

(No.473 片貝)

【ERFC納涼大会】

去る7月某日。清里ミーティングのキックオフ会議に合わせて納涼大会と称して飲み会が開催されました。

場所は都内、神宮外苑の森のビアガーデン。公園内に設置された屋外ビアガーデン(あ、屋外が当たり前か・・・)です。



スタッフはもちろん、直前の呼びかけだったにもかかわらず、ERFC MLの数少ない(^_^;)常連さんである、大橋“失笑”師匠夫妻と根津さんが参加してくれました。

当日は連日の真夏日でまさに生ビール日和。空席待ちの長い長い列の脇を抜けて会場入り。

樹に囲まれた公園内とは言え、会場を埋め尽く

すような人の熱気で暑さ倍増。よけいに飲まなきゃやってられないってもんです。(^^ゞ

当日は飲み放題食べ放題で、肉を焼くのもセルフなら生ビールを注ぐのもセルフ。ここぞと自慢の腕をふるってビールを注ぐ人があれば、一方では綺麗な泡を立てる練習とばかりにお代わり繰り返したり人の分まで注いでみたり……。それぞれ蓋蓄傾けたりジョッキを傾けたりと、暑(苦し?)く楽しい夜は更けていったのでした。



(No.529 小関“豆蔵”秀樹)

【超お久しぶり！初心者の会】

てことで、つやまさんから車いじりの報告が。でも、そんなことすらやってない私は未だに初心者未満・・・

かなり不定期かつ車を全然いじらない番外編ばかりな連載になってしまった初心者の会ですが、今回は久しぶりの本編です。

うちのロドスタも10年を越えて(ちなみに93年1月登録)さすがにあちこちが痛み出しました。気づく都度(予算の許す範囲で)修繕をすることになりますが、そこは初心者の会。なるべく自分でなんとかしようと思うのであります。が、意欲と口先はあるのですが、それに見合った技量と根性がないのが情けない。そもそも、あんまりハードなのは初心者にはモチロンムリムリです(設備もないですし、という言い訳もありますしね)。そういえば、今年に入って早々に車検を通した際には、一緒にブレーキパッドの交換をお願いしちゃいましたが、その前に交換した時は自力だった(というか会長に手伝ってもらってた)なあ・・・まあ、パッドは自分で調達したからヨシとしよう、なんていうのが実態です。

てなわけで、今回はもう少しハードル(たとえば為末大選手はトッテモ残念でした。)の低いものってことで、お題は「ワイパーアーム」でございます。



写真1



写真2

ロドスタのワイパーアーム、黒の塗装が剥げてしまうという話をよく聞きます。皆さんはいかがですか？私の車はこんな感じ(写真1)で、ハゲハゲです。その上、随分前に鳥さんの攻撃のせいかなんかで、運転席側のアームについているウイング

がサビサビになってしまい、あまりにみすばらしいからねじ止めだったのをいいことにはずしちゃいました。(だから写真2では手で持ってます。)

さて、では今回それをどうしたかということなの

ですが、よくペイントしたという話を耳にします。最初はそれを考えたのですが、なんせワタシは手先の不器用さ、特に色を塗るということに関しては、かなり自信がない。ということで、今回はさっぱりと交換しちゃうことにしました。



写真3

パーツ(写真3)は某ショップさんのセールで買った(値段は失念しました。ごめんなさい。)のですが、純正部品ですから当然フツーにディーラーでも買えるはず

です。今回はワイパー本体も純正品にしましたが、もちろんアームだけ取り寄せて、ワイパー本体はお好みの社外品でもいいですね。(実際ワタシはそれまでボッシュを使ってたのですが、今回は敢えて純正に戻しました。)

早速作業です。まずは、ワイパーアームの付け根にあるプラスチックのふたを外します。が、その前にボンネットを開けます。運転席側はボンネットを開けないと手が入りませんから当然なのですが、助手席側は外から見えるので(特に初心者はつい横着をして)そのまま作業しそうになります。(ならない?)でも、結局ナットを外す時に作業できないことに気づきますから、素直にさっさと開けましょう。それともうひとつ、今ついているワイパーの位置に目印をつけておくといいかもしれません。今回のワタシの作業では、窓ガラスがぬれていたのがあまり困らなかったのですが、取り付けの際に目印



写真4

があったほうが楽だと思います。

さて、プラスチックの丸いふたをですが、これは簡単に手で外れました。(写真4)次に、

ふたを外したと

ころにあるナットを適当な工具(ワタシは12ミリのソケットを短いエクステンションバーにつけて使い



写真5

ました)で外します。そんなに強く締まっていなかったの
で、ナットはあっさり外れました。ここで
おもむろにワイパーアームを

抜きます。が、これはちょっと力が要ります。という
のも、アームの固定はナットだけではなく、接合
部分に細かい溝が切っており、しかもテーパ形
状になってすっぽ抜けないようになっているから
です。確かにナットが緩んだだけでワイパーが飛
んだりしては困りますからね！とは言ものの、怪
力が必要なほどではなかったので、何度か引っ張
ってるうちにポコッと抜けました。(写真5)

あとは、新しいアームを目印に沿うように差し込
んで、ナットを締めるだけですが、注意点を。ア
ームを差し込む前にアームとワイパー本体を取り
付けておくということ。理由は単純明快、窓ガラ
スの傷の予防です。ワイパー交換の時に、うっか
り手が滑って、金属部分がガラスにバチッ！とい
う経験ありませんか？ワタシだけ？その予防です。
また、ナットを締めるときにあまり力任せで締め
ない方がよい

ようです。目いっぱい締めようとする、ワイパー
の駆動部分ごと動いてビビります。というかビビ
りました。

これでおしま
いです。(写真
6)多分運転席
助手席側両方を
写真撮りながら
作業しても、15
分くらいだった
と思います。多



写真6

分ワタシだったら、塗るより早いと思います。(なん
となく情けないなあ、と思うのはなぜ?)

最後に使ったパーツ番号を転記しますが、ご自身
で購入される場合は必ず改めて調べてください。ま
た、いつものことですが、作業は全て自己責任でお
願いしますね。

N001-67-321 (運転席側アーム)

N002-67-321 (助手席側アーム)

A001-67-330A (ワイパー本体 2ヶ)

さて、次は何にしましょう?(いい加減サスを変
える話はどうなったのか?という突っ込みは勘弁
してくださいね。)買ったままつけてないあれかな
あ・・・では、アディオス!

(No.153 つのやまけいいち)

【編集後記】

5月発行以来、お久しぶりのプレスです。そしてもう清里ミーティング告知号と言うわけです。今年も去年とほぼ同時期の11月7日の開催ですのでよろしくお祈りします。

さて、話変わって、夏前にうちのスクラッチレッド号にその他装備ことETCを取り付けました。ご多分に漏れず、なんで高速代を払うために金使わなきゃいけないんだよ!とがんばってはいたのですが、買いだめしていた高額ハイカを使い切ってしまったところに機械の安売りキャンペーンがあったのを機にあきらめて買っちゃいました。

で、使ってみるとやっぱり便利。(^^;)買う前にはノンストップなんか、、、と思ってたんですが、一度便利を知っちゃうと戻れなくなっちゃうってもんです。初めて専用レーンに入った時にはホントにゲートが上がるかどうかかなりビクビクものでした。いや、今でもたまに反応が遅かったりして決して速い速度で入ってるわけじゃなくても時々スリルが味わえます。(苦笑)某公団の発表ではまれにゲートが開かないトラブルも実際に発生しているようですし・・・。(おいおい)

しかしカーナビにCDチェンジャーにETC。まもなく納車15周年を迎える我がスクラッチレッド号ですが、結構それなりの装備がついてますな。

そのスクラッチレッド号。この秋は何も考えずに車検を設定しちゃったもんですから、ちょうど気持ちのいい10月始めには車検入り。なので、今から戻ってきたら紅葉でも観に行こうか、蕎麦でも食べに行こうかと画策中。そして清里では16年目を迎えた姿をお披露目です。

では、清里でお待ちしております。

(まめぞう)

E.R.F.C. Newsletter

2004 Vol.2

2004年9月25日発行

発行: EUNOS ROADSTER FAN CLUB

E-MAIL: erfcd@dec.sakura.ne.jp

URL: http://dec.sakura.ne.jp/~erfc/